

京都府の地震活動

令和6年（2024年）6月

第 37 巻 6 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】津波フラッグ	・・・ 7

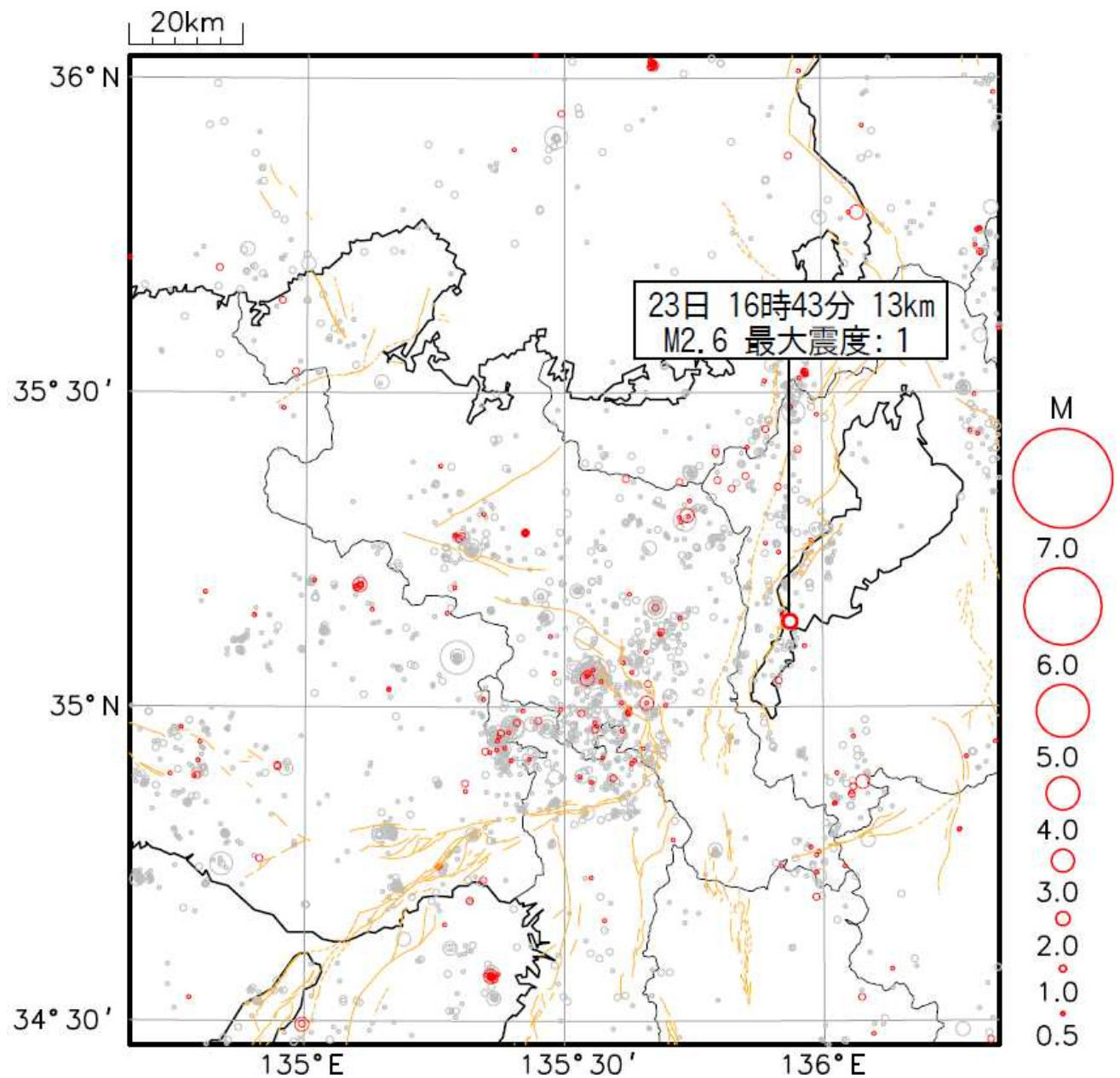
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード 0.5 以上、深さ 0～80km）



- ・（2023年7月1日～2024年6月30日、深さ 0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2024年6月の地震を赤く表示（総数227）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度 1 以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

概況

6 月中、震央分布図内で観測したマグニチュード 2.0 以上の地震は 9 回、震度 1 以上の揺れを観測した地震は 1 回でした（5 月はそれぞれ 7 回、5 回）。

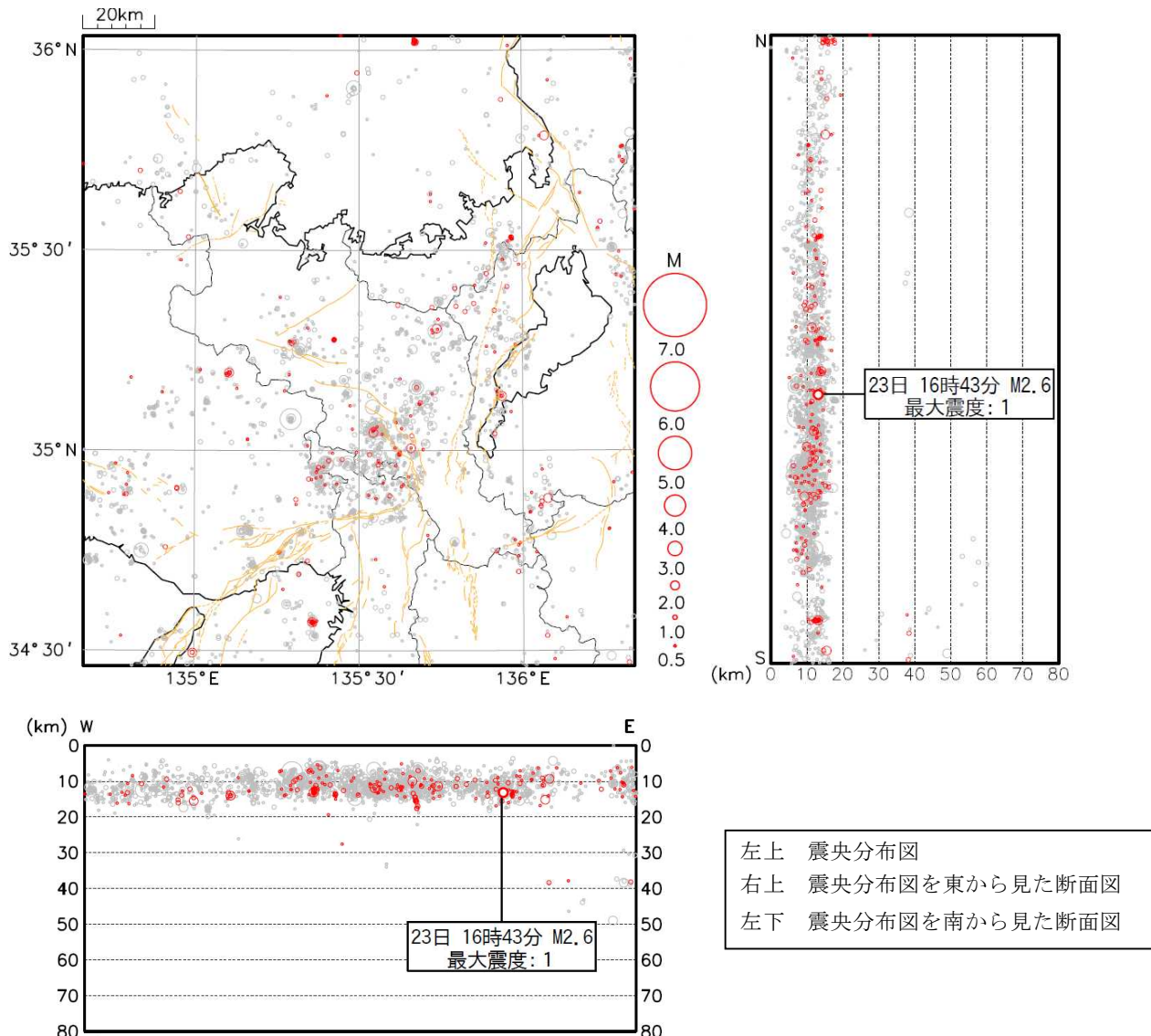
京都府内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回でした（5 月は 4 回）。

3 日 06 時 31 分 石川県能登地方の地震（図の領域外：深さ 14km、 $M6.0$ ）により、京都府京丹後市で震度 2 を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度 5 強～1 を観測しました。

20 日 04 時 24 分 奈良県の地震（図の領域外：深さ 59km、M3.8）により、京都府城陽市、和束町、南山城村で震度 1 を観測したほか、三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県で震度 2 ～ 1 を観測しました。

20 日 22 時 23 分 三河湾の地震（図の領域外：深さ 35km、M4.4）により、京都府京都市伏見区、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町で震度 1 を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿地方にかけて震度 3 ～ 1 を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード 0.5 以上、深さ 0 ～ 80km）



- ・（2023年7月1日～2024年6月30日、深さ 0 ～ 80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2024年6月の地震を赤く表示（総数227）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度 1 以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数 km ～ 約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km ～ 約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2024 年 6 月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月 日	時 分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	6月3日	06:31	石川県能登地方	37° 28.0′	137° 18.1′	14	6.0
①	6月3日	06:33	石川県能登地方	37° 27.4′	137° 20.3′	15	3.4
②	6月20日	04:24	奈良県	34° 12.3′	135° 49.5′	59	3.8
③	6月20日	22:23	三河湾	34° 45.8′	137° 14.9′	35	4.4

※6 月 3 日 06 時 31 分と 06 時 33 分に発生した石川県能登地方の地震は、ほぼ同時刻、同じ場所で連続して発生したことにより、震度の分離ができません。このため、複数の震源を表記しています。

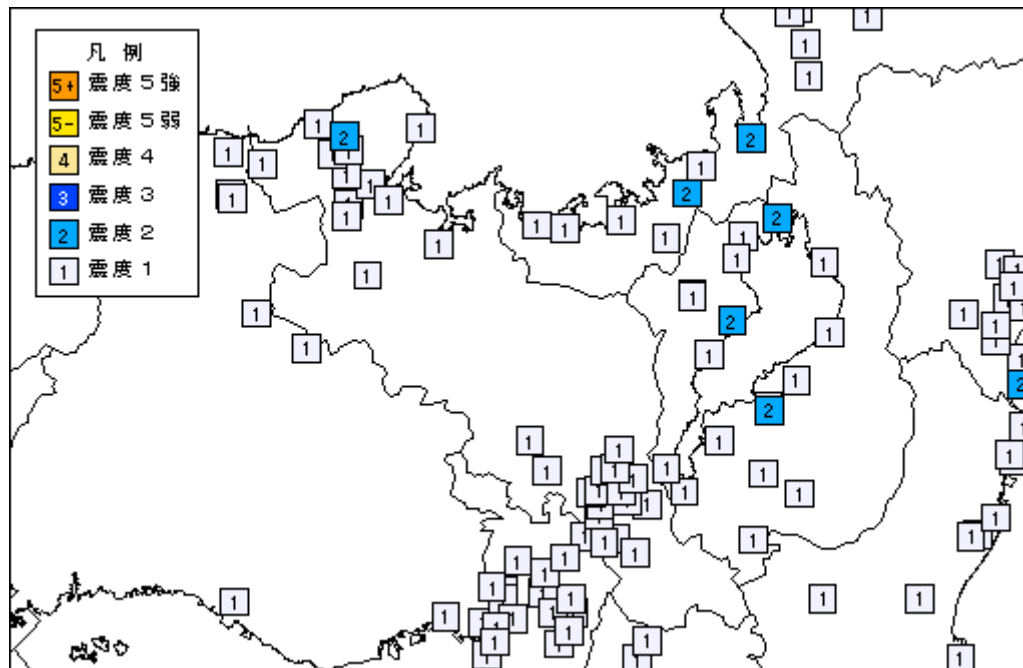
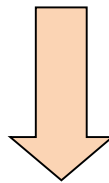
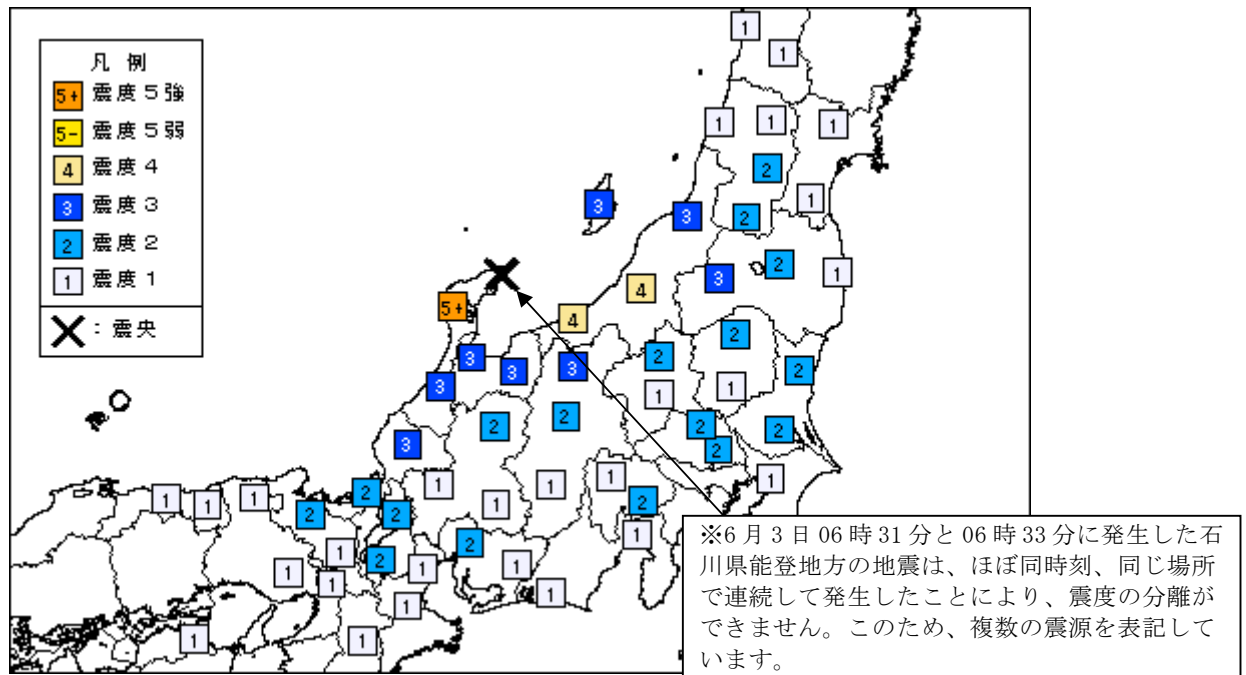
地域	震度観測点	所属	各地の震度		
			①	②	③
北 部	福知山市内記	気	-	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-	-
	福知山市大江町河守	自	1	-	-
	舞鶴市下福井	気	1	-	-
	舞鶴市浜	防	-	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-	-
	宮津市柳縄手	自	1	-	-
	伊根町亀島	防	-	-	-
	伊根町日出	自	1	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	1	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	1	-	-
	京丹後市峰山町	自	1	-	-
	京丹後市大宮町	自	1	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	1	-	-
	京丹後市網野町	自	1	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	2	-	-
南 部	与謝野町加悦	自	1	-	-
	与謝野町岩滝	自	1	-	-
	与謝野町四辻	自	1	-	-
	京都北区大宮西脇台町	自	1	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	-	-
	京都左京区田中	自	-	-	-
	京都中京区西ノ京	気	1	-	-
	京都中京区河原町御池	自	-	-	-
	京都東山区清水	自	1	-	-
	京都市下京区河原町堀小路	自	-	-	-
	京都南区西九条	自	1	-	-
	京都右京区京北周山町	自	-	-	-
	京都右京区太秦	自	1	-	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度		
			①	②	③
南 部	京都伏見区竹田	自	1	-	-
	京都伏見区醍醐	自	1	-	1
	京都山科区安朱川向町	防	-	-	-
	京都山科区西野	自	-	-	-
	京都西京区櫻原	自	1	-	-
	京都西京区大枝	自	1	-	-
	宇治市宇治琵琶	気	-	-	-
	宇治市折居台	防	-	-	-
	亀岡市安町	気	1	-	-
	亀岡市余部町	防	-	-	-
	城陽市寺田	自	1	1	1
	向日市寺戸町	自	1	-	-
	長岡京市開田	自	1	-	-
	八幡市八幡	自	1	-	1
	大山崎町円明寺	自	-	-	-
	久御山町田井	自	1	-	1
	京田辺市田辺	自	-	-	-
	井手町井手	自	-	-	-
	宇治田原町立川	自	-	-	1
	笠置町笠置	自	-	-	-
	和束町釜塚	自	-	1	-
南 部	精華町南稲八妻	自	-	-	-
	南山城村北大河原	自	-	1	-
	京丹波町坂原	気	-	-	-
	京丹波町橘爪	自	-	-	-
	京丹波町本庄	自	-	-	-
	京丹波町蒲生	自	-	-	-
	南丹市美山町島	自	-	-	-
	南丹市日吉町保野田	自	-	-	-
	南丹市八木町八木	自	1	-	-
	南丹市園部町小椋町	自	-	-	-
	木津川市加茂町里	自	-	-	-
	木津川市木津	自	-	-	-
	木津川市山城町上粕	自	-	-	-

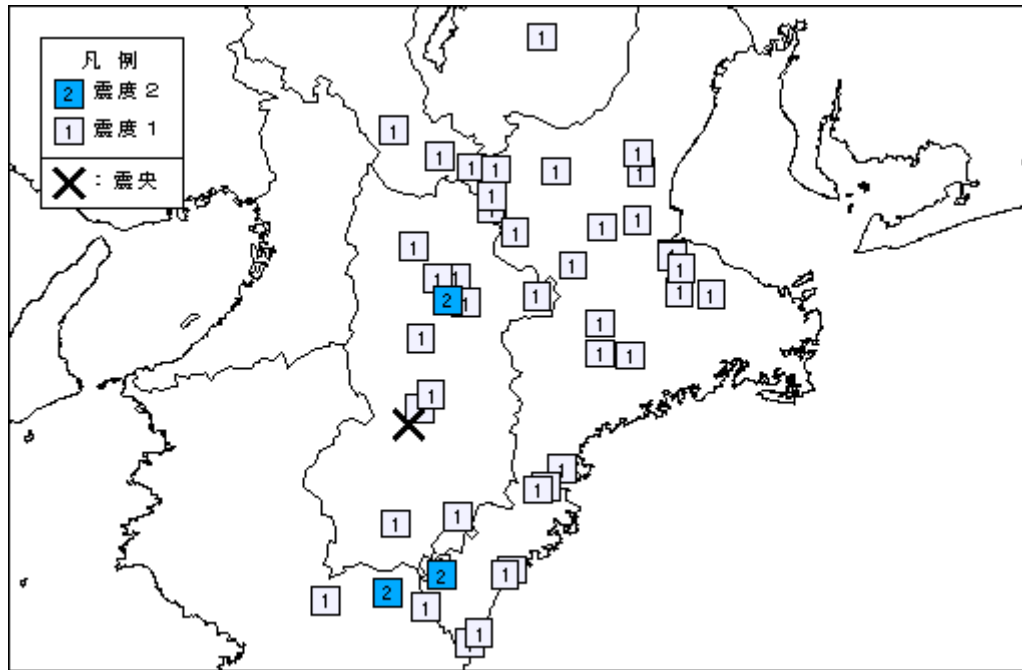
1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「国立研究開発法人防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、6月に京都府内で震度 1 以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

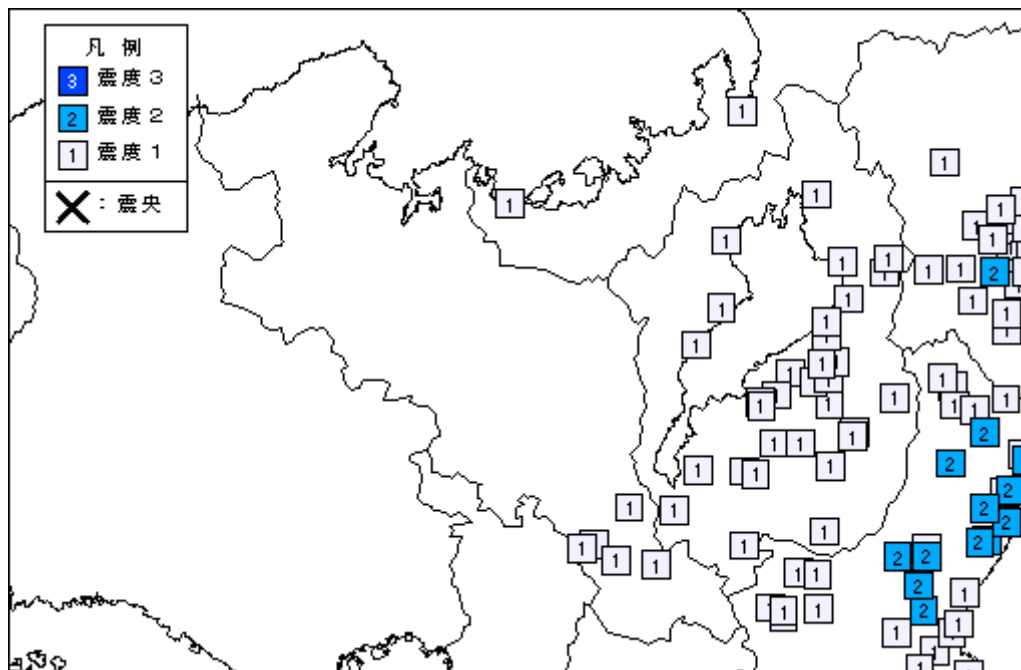
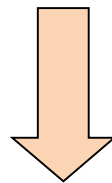
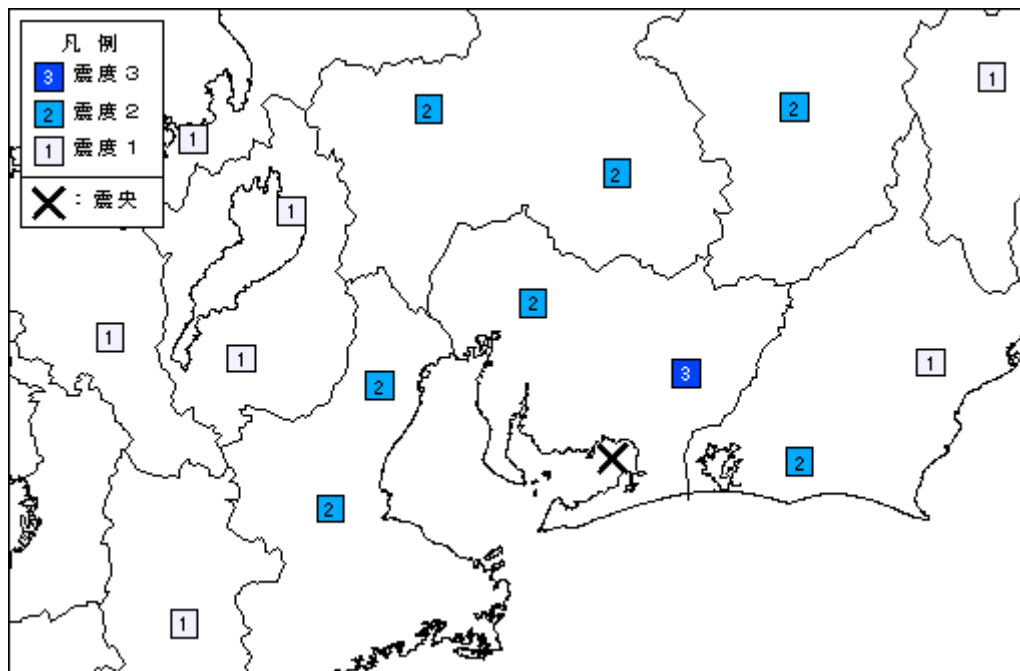
- ① 6 月 3 日 06 時 31 分 石川県能登地方の地震 (M6.0、深さ 14km)、06 時 33 分 石川県能登地方の地震 (M3.4、深さ 15km) の震度分布図 (上図 : 地域別、下図 : 観測点別)



② 6 月 20 日 04 時 24 分 奈良県の地震 (M3.8、深さ 59km) の震度分布図 (観測点別)



③ 6 月 20 日 22 時 23 分 三河湾の地震 (M4.4、深さ 35km) の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



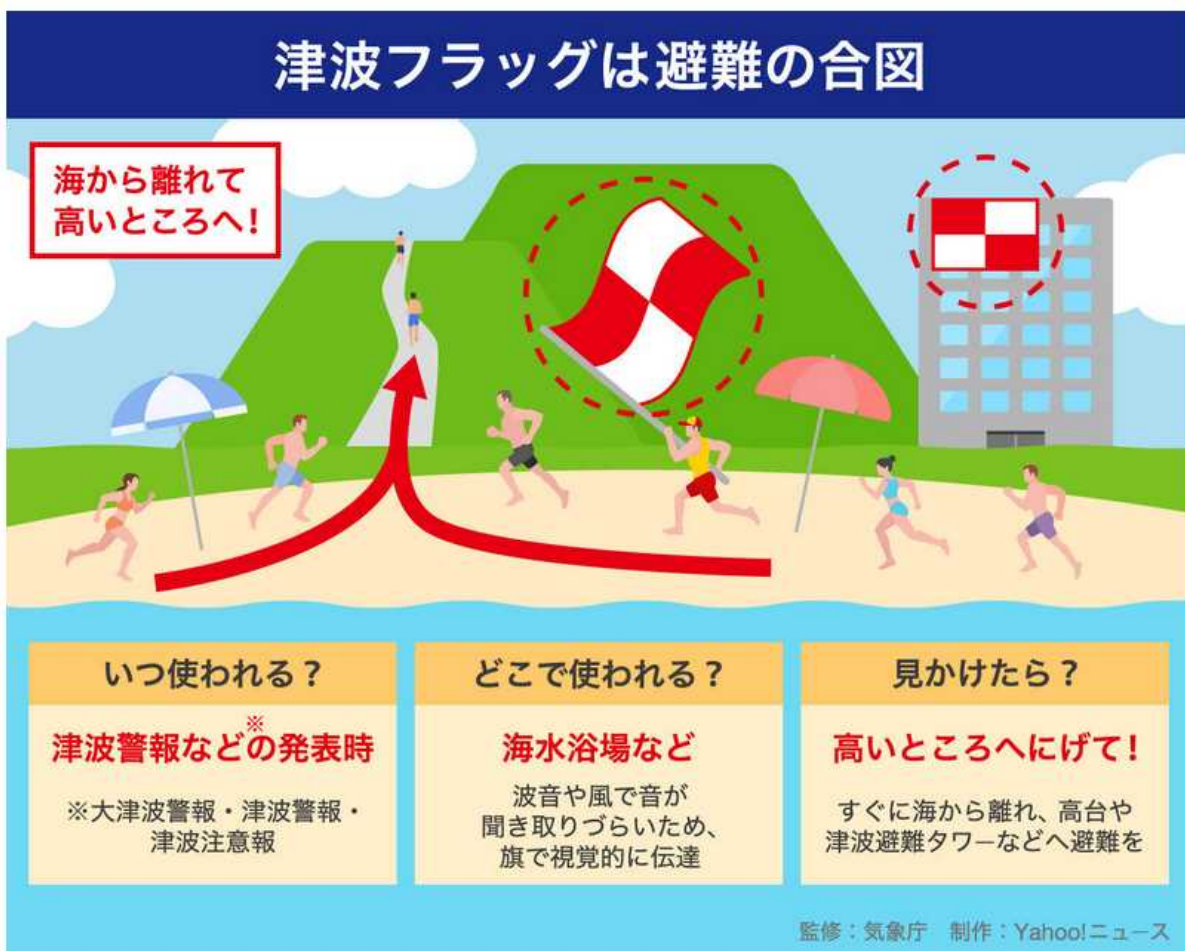
【地震一口メモ】

津波フラッグ

気象庁は、令和2年度から津波フラッグの普及、導入に向けた取り組みをすすめています。津波が生じると予想される（おそれがある）大きな地震が発生し、気象庁から大津波警報、津波警報、津波注意報が発表された場合、海水浴場などでは、放送設備を使い避難を呼びかけますが、遊泳している方や聴覚障害者の方には伝わらない可能性があります。そのため、津波フラッグという旗を使い視覚的にも避難を呼びかけます。なお、詳細については、気象庁ホームページ「津波フラッグ」をご覧ください。

現在、京都府内の一部海水浴場で津波フラッグが導入されており、みなさまがこれから出かける海水浴場で津波フラッグを運用しているところもあると思います。津波フラッグはリーフレットにあるように赤と白の格子模様の旗です。この旗を振っているのを見かけたら、直ちに海から離れて高台などへ避難してください。また、津波フラッグが見えなくても、海岸付近で強い揺れを感じた時、または弱くても長い時間ゆっくりした揺れを感じた時、津波警報等を見聞きした時は、同様に高台などへまず避難してください※。

※津波発生時は、ライフセーバーや監視員の安全が確保された上で津波フラッグを運用しますので、旗が振られないこともあります。揺れを感じたらすぐ避難することが大切です。



(Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可)

津波フラッグは避難の合図（気象庁ホームページ）

